



# 竜中だより

校訓 自律 協力 創造 勤勉

NO. 14

令和5年1月10日発行

学校ホームページ



<http://ryuyo-j.city-wata.ed.jp/>



## 新年明けましておめでとうございます

新しい年、令和5年がスタートしました。3学期が始まりましたが、生徒はみな冬休みを健康に過ごせたようで、安心をしました。3学期も、充実した学校生活が送れるように努めていきたいと思ひます。新型コロナについても、感染拡大が心配されます。3学期も基本的な感染症対策を徹底していきたいと思ひます。

いよいよ、学年の最後のしめくりとなる3学期です。3年生は、進路決定に向けて正念場の時。希望が実現するように精一杯頑張っていきましょう。1・2年生も、今のクラスで過ごすのはこの3学期のみです。「有終の美を飾る」、「感動あるしめくりをしよう」という気持ちや生活が、きっと新しい道や、新学年のスタートで力を発揮していくことにつながっていくと思ひます。けじめのある生活を心がけ、新しい道や学年へのステップとなるように大切に過ごしていましょう。

教職員一同、1年間のまとめ、卒業や進級に向けて精一杯頑張ってもらいます。3学期も竜洋中学校の教育活動にご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



## 3学期始業式

1月6日、3学期の始業式を行いました。始業式では各学年の代表生徒が3学期の決意を発表しました。ただ決意を述べるだけでなく、目標達成のための具体的な行動を示しながら堂々と発表する姿は大変立派でした。各教室での始業式でしたが、生徒はしっかりと顔を上げて、話を聞くことができていました。素晴らしい3学期のスタートとなりました。



## 3学期の主な行事

### <1月>

- 6日(金) 始業式
- 11日(水) 1,2年 県学力診断調査  
3年 校内実力テスト
- 16日(月) 3年 入試説明会(参観)
- 30日(月) 2年 立志の会(参観・懇談会)

### <2月>

- 1・2日 3年 私立高校入試
- 6日(月) 1年 進路学習会(参観・懇談会)
- 10日(金) 3年 私立高校合格発表
- 16日(木) 学年末テスト

### <3月>

- 2・3日 3年 公立高校入試
- 9日(木) 3年生を送る会
- 14日(火) 3年 公立高校合格発表
- 16日(木) 卒業証書授与式(3年)
- 17日(金) 修了式(1,2年)
- 18日(土) ~ 春休み
- 27日(月) 離任式



### 3 学期始業式 校長の話

皆さん、あけましておめでとうございます。皆さんはどんな思いで新しい年を迎えたでしょうか？

私は天竜市二俣町という所で生まれ育ちました。現在は浜松市天竜区二俣町という住所になっています。まだ実家があり、父親が住んでいます。このお正月にも家族や親戚が集まって楽しいひとときを過ごしました。

さて、私の実家の近くに「浜松市立秋野不矩美術館」という美術館があります。二俣出身の女性の日本画家である「秋野不矩（あきのふく）」さんの美術館です。今日は秋野不矩さんのお話をしたいと思います。

不矩さんは 1908 年（明治 41 年）に静岡県磐田郡二俣町、現在の浜松市天竜区二俣町で生まれました。幼い頃から絵を描くことが好きな少女であったということです。不矩さんは二俣高等女学校という学校へ進学します。これは現在の「静岡県立天竜高等学校」です。

その後は学校の先生を目指して女子師範学校という所で学び小学校の先生となりました。しかし、画家になる夢を諦められず先生を辞めて本格的に日本画を勉強します。そして、1930 年（昭和 5 年）10 月、22 歳の時に帝展という大きな展覧会に初出品して初入選を果たします。

その後「童女」や「姉妹」のような、人物を美しく描いた作品などを発表していきます。

1962 年（昭和 37）年、54 歳の時にインドの大学に客員教授として招かれて、約 1 年間インドに滞在しました。インドから帰国した不矩さんは、インドに滞在した時の経験から新たな表現を見だし「インド女性」のような作品を制作していきます。その後も、不矩さんは 60 歳を過ぎてからも何度もインドを訪れ、インドの自然や風景、神々、風土などを題材にして、独自の表現の境地を切り拓いていきます。「カミの泉Ⅱ」は 69 歳の作品。アフガニスタンのバンジャミールという高原の風景を描いたものだそうです。「渡河」は 84 歳の作品。河を渡る牛の群れを描いています。大きさが縦 1m43 cm,横 3m65 cmもある作品です。

「秋野不矩美術館」には、89 歳の時の不矩さんの言葉が掲げられています。



絵を描きつづけて八十余年

それでもまだ満足はいく作品が描けないのが現実だが

私もそれ故（ゆえ）に生きていく甲斐（かい）があるというものであろう

絵とは何であろうか

作家は自分の創作を期して表現にいとみ一生を過ごすのが使命であり それが本望である

90 歳近くになっても、まだ満足せず、自分の新たな表現を求めていこうとしていたのですね。

「オリッサの寺院」は 1998 年、90 歳で描いた大作です。大きさは縦 1m22 cm,横 7m05 cm という巨大なものです。90 歳を過ぎて、この大作を創作するエネルギーは信じがたいものがあります。

不矩さんは 2001 年 10 月、93 歳でお亡くなりになりました。お亡くなりになる直前まで、これまでにない新しい表現を追い求めて、精力的に創作活動をされていた秋野不矩さん。私の生まれ故郷の偉大な先輩として、その生き方に学ばなければいけないなと思っています。

「秋野不矩美術館」では不矩さんの沢山の作品に出会うことができます。興味がある人は一度訪れてみてください。

新しい年を迎えて、今年は何か新しいことにチャレンジしてみたいと考えている人も多いのではないかと思います。不矩さんの生き方を見ていると、新しいことを始めることに年齢は関係ない。チャンスはいつでもあると感じられます。

この一年が皆さんにとって飛躍の一年となることを願っています。



令和 5 年 1 月 6 日

磐田市立竜洋中学校長 鈴木秀幸